

「エフピコフェア2025」開催 ～ヒントや課題解決提案に15,000人来場～



容器製造販売 国内最大手企業のエフピコは2025年4月9日（水）～4月11日（金）、東京ビッグサイト（東京都江東区）にて同社展示会「エフピコフェア2025」を開催した。「エフピコフェア2025」でのメインテーマは、『サイズも 見映えも 機械化もしっかり対応/叶える容器』とした。

エフピコフェアでの提案ブースは126ブース・901尺、展示容器は約8,900パック、パッカー協力企業数62企業、3日間での来場客数は約15,000人と前年を上回った。また、来場者内訳としては、経営

者・部長クラスの来場が昨年より約5%アップし、食品業界における注目の高さがうかがえる。

毎春の恒例となった「エフピコフェア」では、エフピコグループの最新製品をはじめ、同社製品を使用している食品業界における成功事例や課題解決提案、新技術、同社環境啓発活動などを紹介。

営業提案ゾーンでは、全国の売場から「売上が上がった」「オペレーションが改善した」など、会場では実際に商品を盛り付けての成功事例をはじめ、量目抑制や効率アップ、売上アップ提案を実施した。



耐熱カップ容器

▶透明カップ容器の需要が伸びている。耐熱110℃透明カップが新登場し、温惣菜のレンジアップにも対応。

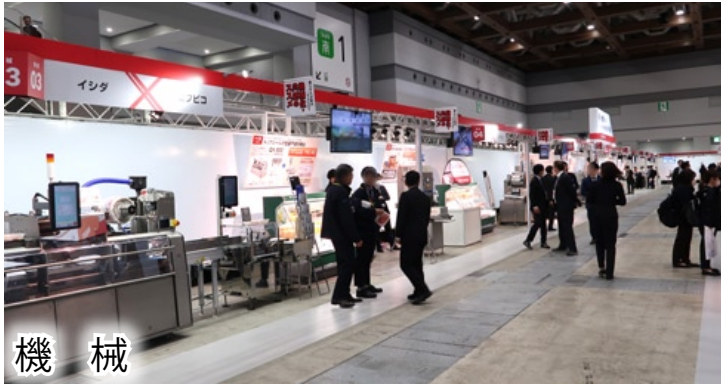


セットメニュー提案

▶主食と今あるおかずメニューのセットで満足度UP。



『四元豚のロースとんかつバーガーセット』



機械



松田食品工業

食品メーカーコラボブースでは、いなり揚げの松田食品工業(株)や日本食研(株)などが出店し、エフピコ製容器を使用しての新メニュー提案やオペレーション改善提案を実施した。また、機械メーカーは13社・約40台の機械を実演展示し、スチームコレクターや解凍機、自動蓋閉め機などに注目が集まった。

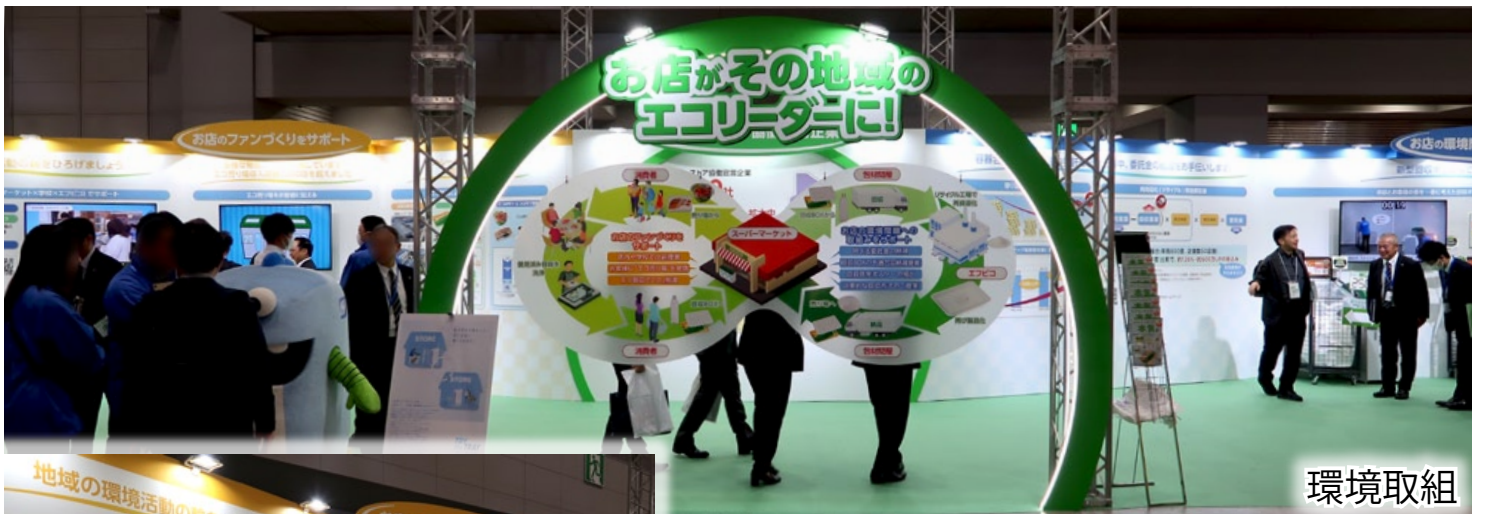


日本食研 × エフピコ

▶ PPI-タルク中皿容器で中皿ごとスチコン調理が可能に！丼メニューに最適。



『炭火焼鳥の親子丼』



環境取組



環境啓発活動

リサイクルブースでは、同社が実施している環境啓発活動を紹介。同社では、リサイクルをより広く知ってもらうために同社工場見学に注力している他、SM店舗で実施する環境イベントや同社監修のまんが文庫「食品トレーのひみつ」を発刊し、子供たちに環境問題の正しい知識を普及している。食品SMと共同開催する出前授業では、環境教育が始まる小学4年生を中心に実施し、子供たちから従業員、地域を巻き込んだ環境啓発に取り組んでいる。